

殺虫剤
ペルメトリン水和剤

アディオ[®]ン水和剤

農林水産省登録 第15966号
(住友化学(株)登録)

性状：淡褐色水和性粉末
毒性：普通物(毒物及び劇物に該当しないものを指すという通称)
危険物：非該当
有効年限：5年
包装：100g×50

有効成分：ペルメトリン(化管法第1種)・・・・・・20.0%

殺虫剤分類3A

アディオ[®]ンは住友化学(株)の登録商標です。

特長

○幅広い適用作物

おうとう、りんご、大粒種ぶどうなどの各種果樹に使用できます。

○ワイドな殺虫スペクトラム

果樹のシンクイムシ類、アブラムシ類などを防除できます。

○速攻性と残効性を発揮

接触作用により高い殺虫効果と優れた速効性を発揮します。また、残効性にも優れるので、発生期間の長い害虫の防除にも効果的です。

○普通物で収穫前日登録

なし、おうとうなどに収穫前日登録があります。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ペルメトリンを 含む農薬の 総使用回数
りんご	キンモンホソガ	2000～ 4000倍	200～ 700ℓ	収穫14日前 まで	2回以内	散布	4回以内 (散布は2回以内、 噴射は2回以内)
	アブラムシ類 シンクイムシ類	2000～ 3000倍					
	ギンモンハモグリガ	3000倍					
	ハマキムシ類 モモチョッキリゾウムシ	2000倍					
ぶどう	フタデンヒメヨコバイ アメリカシロヒトリ	2000倍	200～ 700ℓ	収穫7日前 まで	5回以内	散布	5回以内
	チャノキイロアザミウマ	2000～ 4000倍					
	コガネムシ類	2000～ 3000倍					
もも	モモハモグリガ	2000～ 3000倍	200～ 700ℓ	収穫7日前 まで	6回以内	散布	6回以内
	シンクイムシ類	3000倍					
	アブラムシ類	2000～ 3000倍					
なし	アブラムシ類	2000～ 3000倍	200～ 700ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
びわ	アブラムシ類	2000倍	200～ 700ℓ	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内
うめ	アブラムシ類 アカマダラケシキスイ	2000倍	200～ 700ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
おうとう	ショウジョウバエ類 オウトウハマダラミバエ	2000倍	200～ 700ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
かき	カキノヘタムシガ ケムシ類	3000倍	200～ 700ℓ	収穫7日前 まで	5回以内	散布	5回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ペルメトリンを 含む農薬の 総使用回数
かりん	シンクイムシ類	2000倍	200～ 700ℓ	収穫3日前 まで	3回以内	散布	3回以内
オリーブ	オリーブアナアキゾウムシ カメムシ類 ハマキムシ類	2000倍	200～ 700ℓ	収穫7日前 まで	2回以内	散布	2回以内

使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。

安全使用上の注意事項

- 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着するおそれのある場所では使用しないでください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
 - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
 - 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 誤飲、誤食などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
- 粉末は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は、農薬用マスク、手袋などをしてください。また、散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 本剤による中毒の治療法としては、動物実験でメトカルバモール製剤の投与が有効であると報告されています。

水産動植物に係る注意事項

- 水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。